

2027年3月期 第1四半期

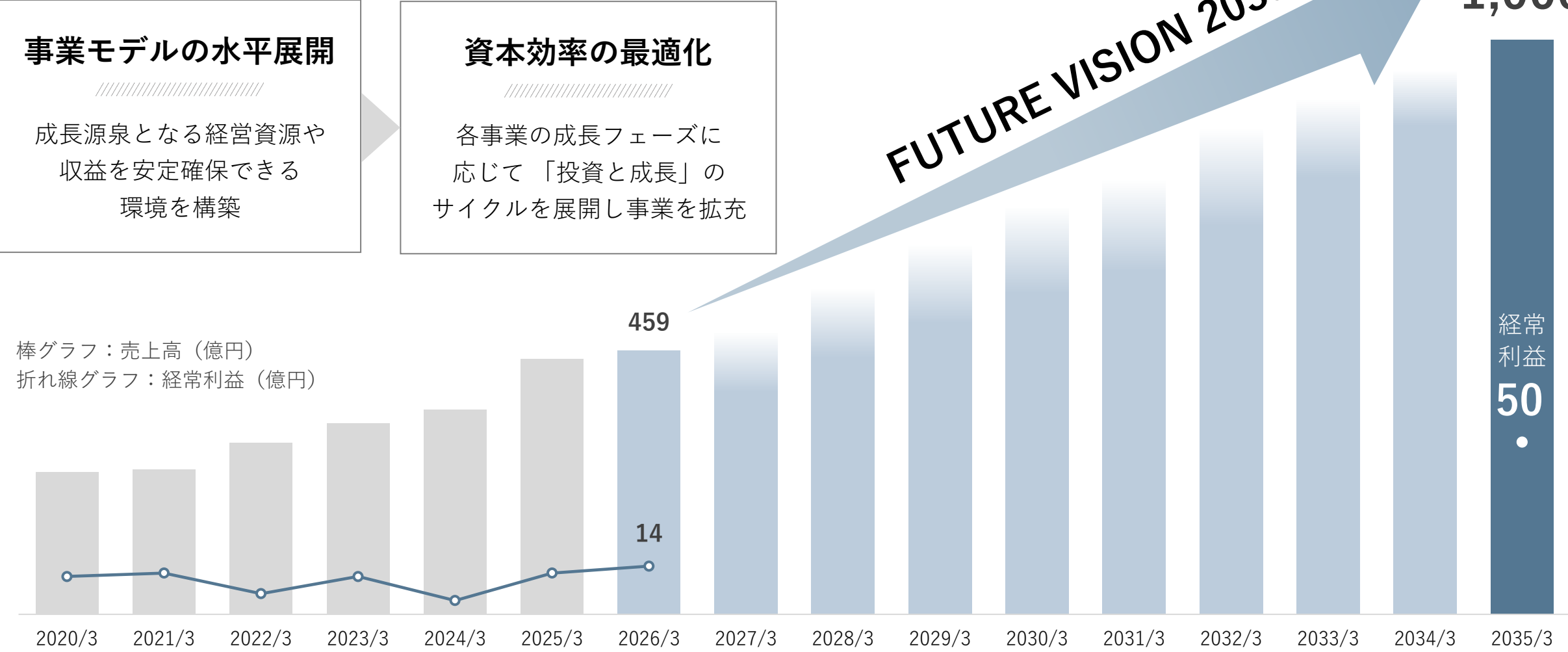
決算説明資料

株式会社ウイルテック

(証券コード：7087)

中長期的な成長に向けて

事業の効率性を高めながら、今後のさらなる成長に向けた事業モデルの水平展開をすすめ、幅広い市場ニーズを獲得し、多面的な事業成長を図る期間と位置付け



過去
最高

売上高

118億

前年同期比 +10.8%

経常利益

3.0億

前年同期は▲28百万円の経常損失

黒字化

経常利益率

2.6%

サマリ

■ 第1四半期の売上高および経常利益は増収増益

増収要因：生成 A I 関連投資を背景とした半導体関連分野で底堅い需要が継続

増益要因：需要回復による増収効果に加え、配属単価交渉や新卒配属が順調に進捗

■ 2027年3月期の見通し

一部顧客で中東情勢等による影響はあるものの、おおむね計画通り

目次

— 01 —	— 02 —	— 03 —	— 04 —
ウイルテック の事業概要	2027年3月期 第1四半期決算	2027年3月期 業績予想	APPENDIX
p.5~	p.7~	p.13~	p.18~

■ 数値に関する注意事項

当資料については、特段の注記がない限り数字については表示単位未満切捨て、比率、年数及び倍率等については表示単位未満四捨五入して表示しています。

■ 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

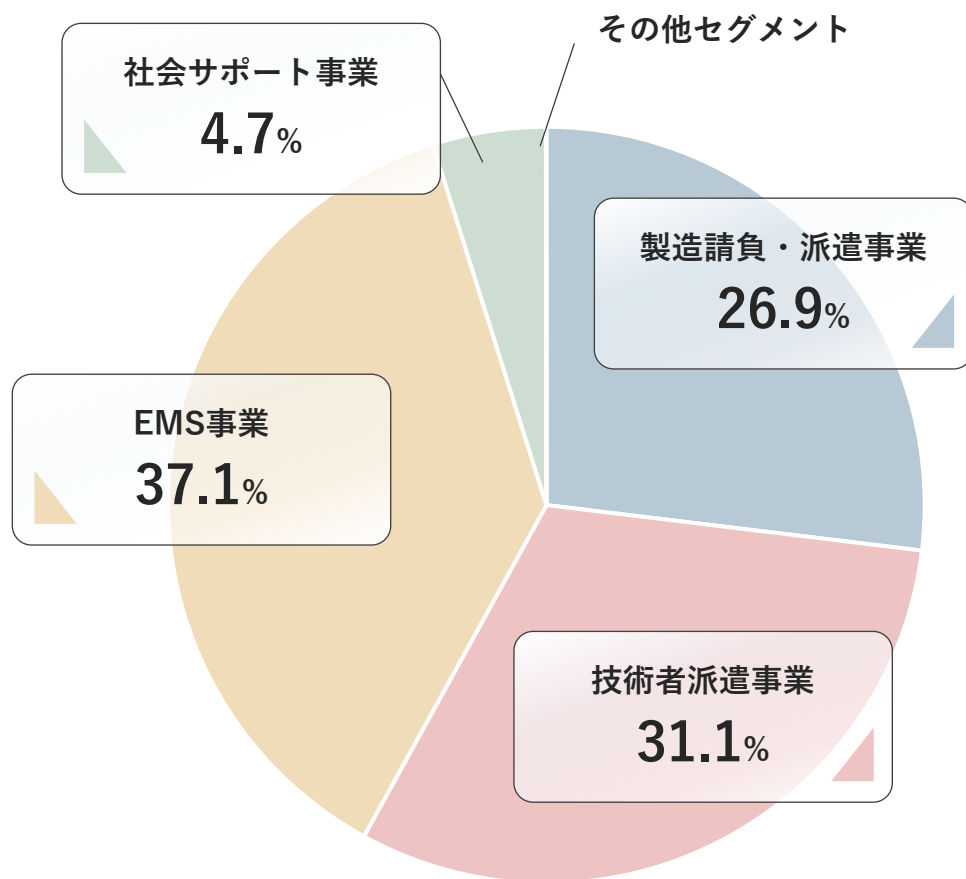


01



ウイルテックの事業概要

売上構成比（2026年3月期）



人財系フィールド

製造請負・派遣事業

「製造派遣」「製造請負」という2つの形態で、お客様の製造現場における製品の安定生産や生産性向上をサポート。



技術者派遣事業

機電系、建設系、IT系などの高い専門性が求められる領域において、当社の技術者を派遣し技術開発やDX化を支援。



モノ・コトづくりフィールド

EMS事業

電子機器の製造を受託するサービスを展開。製品の設計から保守までを「国内一気通貫」で請け負える点が特徴。



社会サポート事業

世の中の社会課題を成長領域と捉えて事業を推進。現在は社会インフラや雇用サポートなどの領域でサービスを展開。





02



2027年3月期 第1四半期決算

項目（百万円）	2026/3期 第1四半期		2027/3期 第1四半期		前年同期比		
	実績	対売上比率	実績	対売上比率	増減額	増減率	対売上比率
売上高	10,703	-	11,861	-	+ 1,157	+ 10.8%	-
- 売上原価	8,862	82.8%	9,541	80.4%	+ 679	+ 7.7%	▲ 2.4pt
売上総利益	1,841	17.2%	2,320	19.6%	+ 478	+ 26.0%	+ 2.4pt
- 販売費及び一般管理費	1,894	17.7%	2,026	17.1%	+ 131	+ 6.9%	▲ 0.6pt
営業利益	▲ 53	▲0.5%	293	2.5%	+ 347	-	+ 3.0pt
経常利益	▲ 28	▲0.3%	308	2.6%	+ 337	-	+ 2.9pt
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 85	▲0.8%	128	1.1%	+ 214	-	+ 1.9pt

売上高影響
(営業面の効果)

- 半導体・電子部品の在庫調整が一巡し、需要は回復基調
- 半導体・AI関連が好調なことから、人財需要は堅調

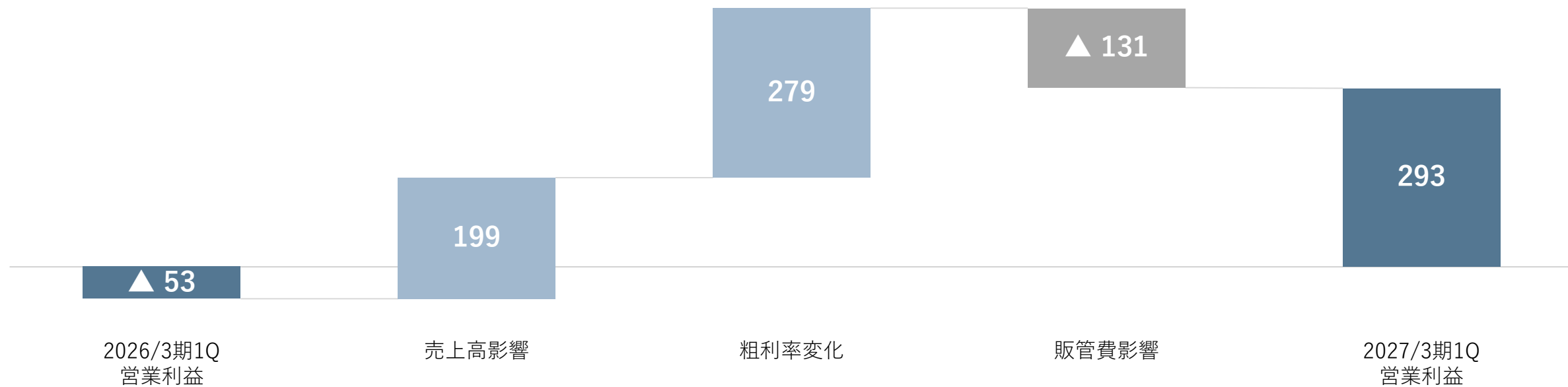
粗利率変化
(原価改善の効果)

- エンジニア総数が増加してきたことで、新卒研修にかかるコストの割合が相対的に低下
- 照明機器製造・販売において前期は新製品市場投入により先行コストが発生し、今期と差異が発生

販管費影響
(労務費・諸経費の増低減効果)

- 事業成長に伴い、計画的に人財投資および営業活動を実施

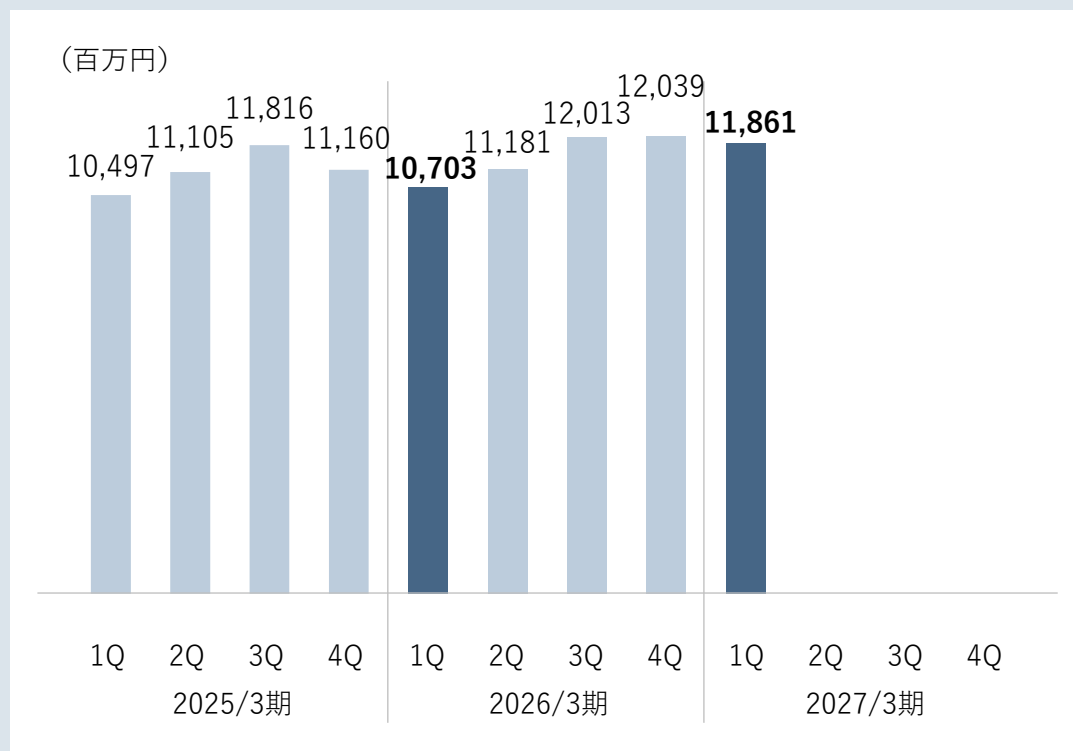
(百万円)



売上高

前年同四半期比：半導体関連の需要に伴う生産回復により増収

前第4四半期比：人財系フィールドにおける大型連休などの稼働日数の影響により微減

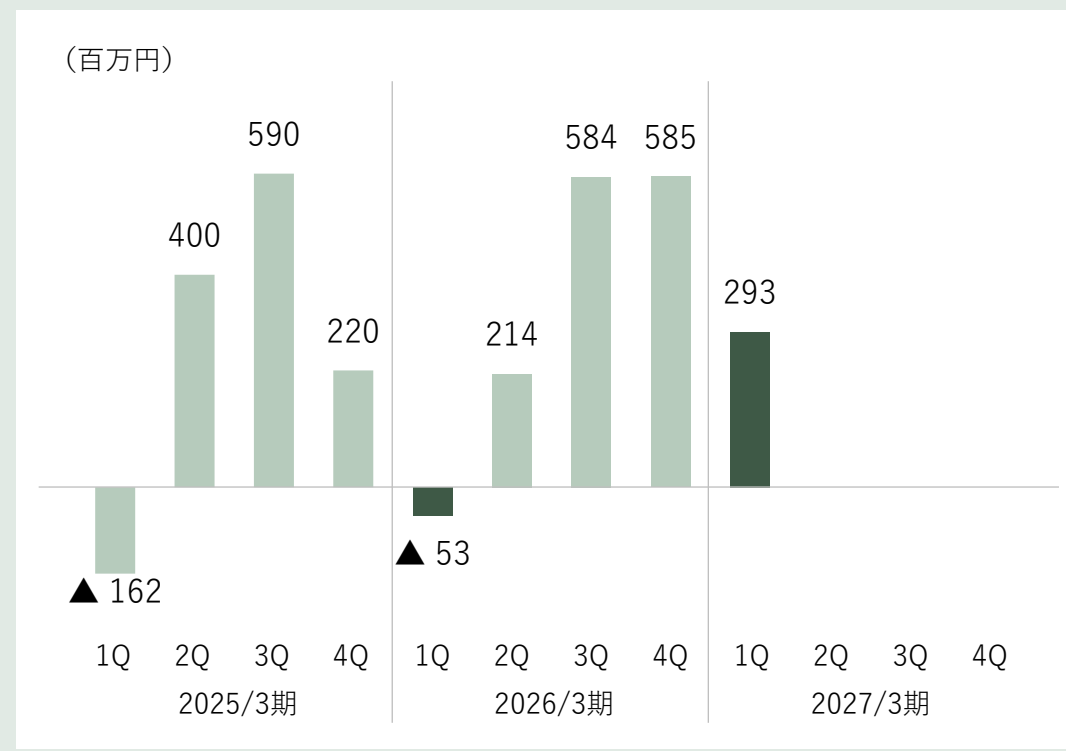


営業利益

前年同四半期比：前期の新製品投入コスト分の差異により、大幅増益

前第4四半期比：EMS事業の需要回復により利益率は改善基調

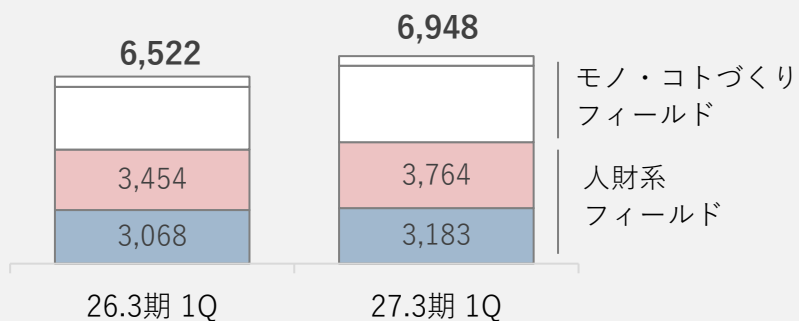
ただし、第1四半期は新卒教育に係る先行投資が生じる



製造請負・派遣事業：一部生産調整はあるものの、生成AI・データセンター関連の投資拡大により半導体需要は底堅く増収。需要に対する採用投資強化により減益
 技術者派遣事業：生成AI関連、都市部の再開発など需要は堅調。価格交渉の積極的な推進や、技術社員総数の増加に伴う新卒コスト負担の軽減により、大幅増益

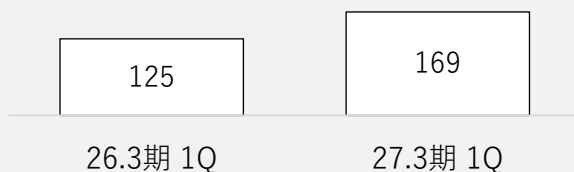
セグメント売上高（百万円）

■ 技術者派遣 ■ 製造請負・派遣



※セグメント間取引を含む
 ※報告セグメントに含まれない「その他」の売上高は含まない

セグメント利益（百万円）



人財系フィールド（百万円）		2026/3期 1Q	2027/3期 1Q	前年同期比
売上高		6,522	6,948	+ 6.5%
セグメント利益		125	169	+ 35.2%
製造請負・派遣	売上高	3,068	3,183	+ 3.8%
	- 製造請負	1,330	1,209	▲ 9.1%
	- 製造派遣	1,738	1,973	+ 13.5%
	事業利益	126	70	▲ 44.2%
技術者派遣	売上高	3,454	3,764	+ 9.0%
	- 機電	1,311	1,469	+ 12.1%
	- 建設	1,423	1,556	+ 9.3%
	- IT	718	739	+ 2.9%
	事業利益	▲ 1	98	-

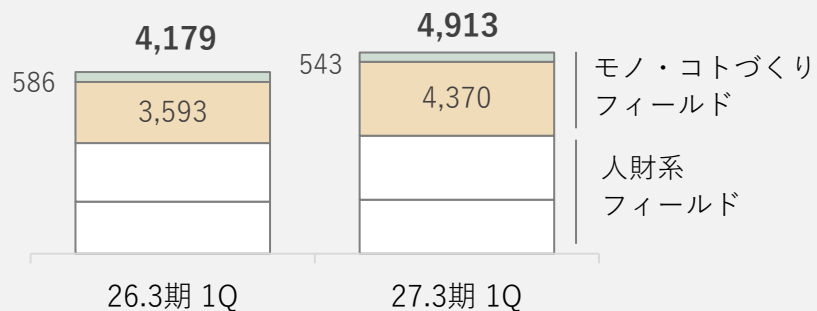
※売上高にはセグメント間取引を含む

EMS事業：生成AI・サーバー関連の受注拡大や国内設備投資の拡大に伴い増収。照明器具における新製品の販売が堅調に推移したことにより大幅増益

社会サポート事業：社会インフラ分野において一部顧客の季節性需要の一巡により減収も、新規顧客開拓は順調に進展。事業拡大に向け投資を継続

セグメント売上高（百万円）

■社会サポート ■EMS



※セグメント間取引を含む
※報告セグメントに含まれない「その他」の売上高は含まない

セグメント利益（百万円）

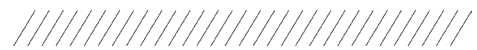


モノ・コトづくりフィールド（百万円）		2026/3期 1Q	2027/3期 1Q	前年同期比
売上高		4,179	4,913	+ 17.6%
セグメント利益		▲ 112	183	-
E M S	売上高	3,593	4,370	+ 21.6%
	- 電子部品製造・販売	878	1,147	+ 30.6%
	- 照明器具製造・販売	2,714	3,222	+ 18.7%
	事業利益	▲ 136	193	-
社 会 サ ポ ー ト	売上高	586	543	▲ 7.3%
	- 社会インフラ	379	321	▲ 15.3%
	- 雇用サポート	90	87	▲ 3.3%
	- サーキュラーエコノミー	117	134	+ 14.5%
	事業利益	23	▲ 10	-

※売上高にはセグメント間取引を含む



03



2027年3月期 業績予想

市場環境：賃上げによる所得環境の改善や、省力化・デジタル関連を中心とした企業の設備投資意欲などを背景に、内需主導で緩やかな需要回復が続く

経営環境：A I 関連の半導体需要、建設業におけるインフラ更新、D X ・ A I 実装にむけたシステム開発、航空関連の照明設備の更新など、底堅い需要が継続

項目（百万円）	2026/3期 実績	2027/3期 通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	45,936	47,740	+1,804	+3.9%
営業利益	1,330	1,350	+20	+1.5%
経常利益	1,463	1,420	▲43	▲3.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	897	923	+26	+2.8%

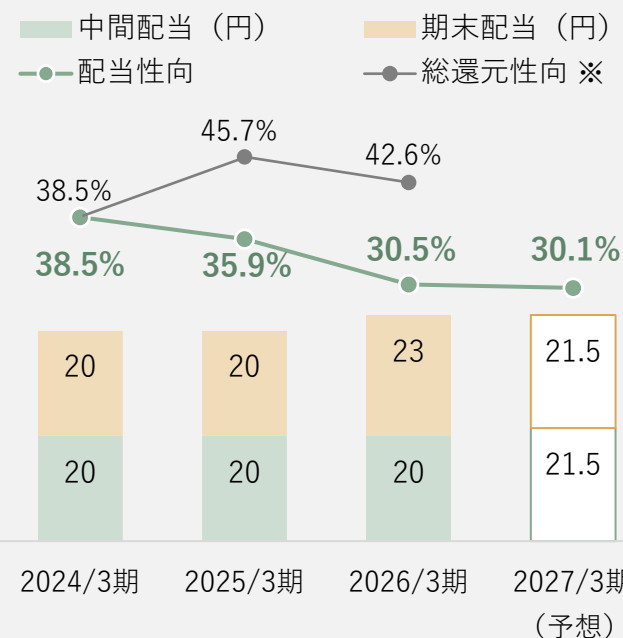
※市場動向に変化があった場合は、速やかに予想の修正を発表

配当方針

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向30%を目安に

中間配当と期末配当の年2回の配当により、**減配せず持続的かつ安定した配当を実施**していくことを基本方針としております。

配当金の推移



株主優待

保有株式数に応じて**年2回 合計10,000円～30,000円分**贈呈

保有株式数	贈呈金額
300株以上700株未満	5,000円相当のQUOカード
700株以上1,500株未満	10,000円相当のQUOカード
1,500株以上	15,000円相当のQUOカード



9月末及び3月末時点で当社株式を6か月以上保有している株主様対象

※総還元性向とは

当期純利益のうち、どの程度を配当および自己株式取得として株主に還元したかを示す指標

総還元性向 = (配当金総額 + 自己株式取得額) ÷ 当期純利益

仕事と子育ての両立支援に取り組む 優良企業として、厚生労働省より 「くるみん認定」を取得

長期ビジョン『FUTURE VISION 2035』で掲げるグループ
パーパス「人の可能性を発掘する」に基づき、性別にかかわら
ず全ての従業員が、その能力を最大限に発揮し、仕事と生活の
調和を図りながら働くことができる雇用環境の整備を推進。



女性活躍推進の優良企業として
「えるぼし認定（3つ星）」を取得
2025年2月取得済



トピックス

「日経・東証IRフェア2026」に出展

上場企業と個人投資家の対話の場

日経・東証IRフェア2026

8/28日(金)・29日(土) 東京ビッグサイト南3・4ホール

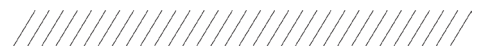
事前登録で
入場無料

日経・東証IR



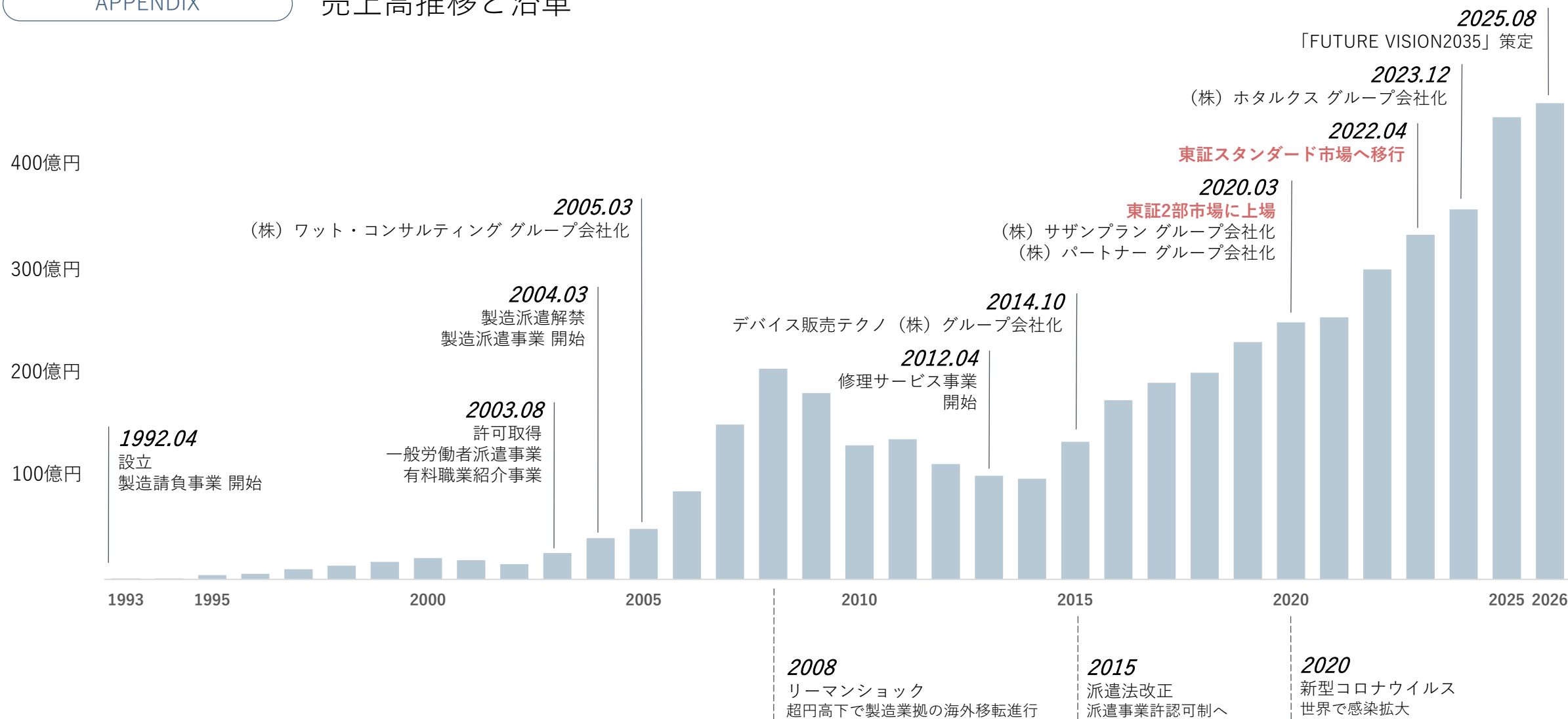


04



APPENDIX

社名	株式会社ウイルテック（英文表記：WILLTEC Co.,Ltd.）		
代表者	代表取締役 宮城 力		
設立年月日	1992年（平成4年）4月		
本社所在地	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国4丁目3番1号		
資本金	166,618,000円		
役員構成	- 取締役 会長執行役員 - 代表取締役 社長執行役員 - 取締役 常務執行役員 - 取締役 上席執行役員 - 取締役 上席執行役員 - 取締役 上席執行役員 小倉 秀司 宮城 力 水谷 辰雄 野地 恭雄 西 隆弘 渡邊 剛 - 取締役 上席執行役員 - 取締役 執行役員 - 取締役（常勤監査等委員） - 社外取締役（監査等委員） - 社外取締役（監査等委員） 石井 秀暁 塩塚 大介 花木 紀好 麻田 祐司 見宮 大介		
事業内容	製造請負／製造派遣／技術者派遣／受託製造／電子部品卸売／修理サービス／海外人材育成など		
売上規模	45,936百万円（連結／2026年3月期）		
従業員数	【連結】 5,847名 【単体】 3,831名（2026年3月末時点）※平均臨時雇用者含む		



創業期・地域基盤の構築

事業拡大からの低迷期
(ビジネスモデルの水平展開)

事業ポートフォリオの再構築期

製造派遣契約を通じて新規顧客の開拓を進め、当社の強みである「改善の風土」を活かして製造請負契約へと発展。

改善活動と製造ラインの自動化・省人化の提案を通じて生産効率の向上を図り、ローコストオペレーションの実現。

ターゲット

- 家電メーカー・電子機器メーカー
- 半導体メーカー
- 医療機器メーカー
- 通信機器メーカー
- FA（ファクトリーオートメーション）メーカー
- ロボット関連メーカー など

強み

1 改善の風土

グループ内で改善活動を共有し、仕組みとして浸透



改善が生まれ続ける組織文化を醸成



2 製造ノウハウ

生産現場に寄り添った効率化の工夫を実践



低コスト×高効率のローコストオペレーション



3 品質管理

メーカー水準の品質管理体制で信頼性ある製造を実現



顧客からの厚い信頼と高品質の実績



事業戦略

製造派遣

必要な時期・規模で迅速に労働力を提供



お客様の信頼を獲得し、ウイルテックの強みが更に活きる事業形態へ

製造請負

生産工程の一部または全体を当社の責任と指揮のもとで遂行



製品ロスの低減

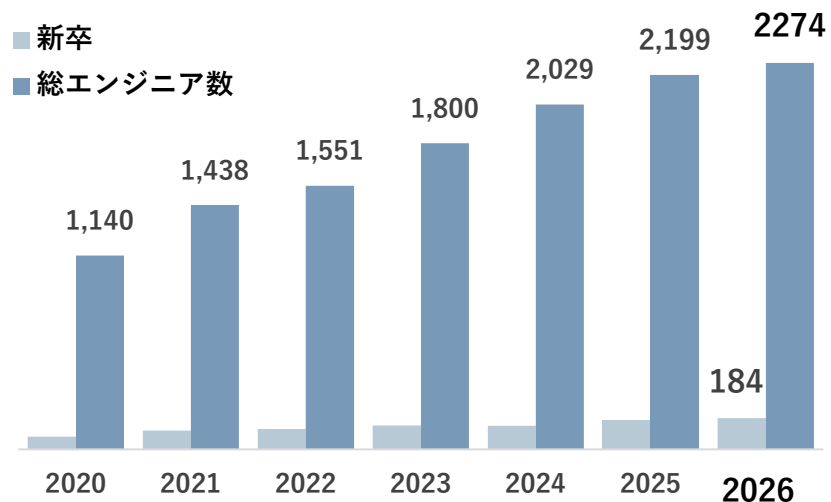
当社とお客様双方にメリットのある“Win-Winの関係”へ

生産効率向上

新たな技術の習得に意欲を持った新卒・第二新卒採用を中心に、未経験者採用に注力。

教育コンテンツの開発や教育機会の拡充に取り組んできた強みを活かし、若手エンジニアの早期戦力化に努める。

注力 採用



未経験者採用
に注力

第一新卒比率
8.1%



強み 教育

充実した教育環境により、新卒社員であっても
即戦力として活躍できる体制を構築

■ 教育プログラム事例



Construction Boarding

建設エンジニアのための
Z世代に最適な新しい建設学習アプリ



ジョブトレシリーズ

実施してきた研修内容を基に編集



定着

国内製造業の構造改革が進む中、製造拠点の国内回帰の流れが強まる。

グループシナジーを最大限に活かし、「設計」から「保守」に至るまで「国内一気通貫」で担う、短納期・高品質なEMSサービスを提供。

なぜ国内回帰が進んでいるのか



災害・パンデミック

物流停止、工場閉鎖など海外製造のリスクが露呈



地政学リスク

政情不安による調達難



為替変動（円安）

国内生産の方がコスト優位になる場面も

なぜEMSが必要とされるのか



製造業のファブレス化

自社での設備保有を避け、委託する流れが加速



製造品目の選択と集中

核心分野にリソースを集中し、それ以外は委託

国内にあるEMS企業の 需要が高まっている

地理的な近さが
重要ポイント

やっぱり国内が
安心できる

得意な製造物だけに
集中したい

設備投資を
抑えたい

グループの強みを結集した “国内生産”一気通貫体制

WILL ONE

techno 部品調達／基板実装／検査
「モノづくり」の技術商社

HotaluX 設計／組立／検査／評価
歴史ある国内照明器具メーカー

WILLTEC 製造ライン設計／アフターサービス
多様な製造ノウハウを蓄積

世の中の社会課題を事業機会と捉え、ウイルテックグループの強みを生かせる3つの分野で事業を展開。

既存事業の安定的なサービス提供に加え、社会課題から生まれる新領域への参入を通じて、次世代の柱事業となるよう注力。

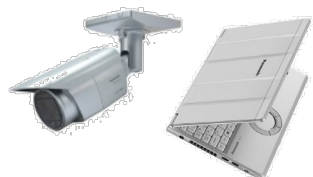
社会インフラ (エネルギーインフラ・ロボット)

- 家庭用蓄電池の保守メンテナンス
- 建設受託工事業の拡大（現地調査、補助金申請、設置工事）
- 製造現場・物流現場でのロボット活用の提案
- ロボット導入から保守にいたるカスタマーサービス



サーキュラーエコノミー

- 中古OA機器の買取・修理・販売
- リファビッシュ サービス



雇用サポート

- 海外人材の生活サポート
- 日本語教育および実務研修
- 外国人エンジニアの採用プラットフォームの運用





本資料に関するお問い合わせ先

情報統括部 広報・IR課 IR担当

ir@willtec.jp